

## 「モンティの明日への架け橋」執筆によせて

本書の「モンティの明日への架け橋」は、2011年3月11日の東日本大震災の津波で亡くなったアラスカ大学アンカレジ校 (University of Alaska Anchorage [UAA]) の卒業生、モントゴメリー・ディクソン (モンティ) を記念して作成されました。モンティは、UAA で日本語を専攻して2009年に卒業し、その夏 JET (Japan Exchange and Teaching) プログラムで岩手県陸前高田市に派遣され、外国語指導助手 (ALT) として、地元の小中学校の英語教育に従事しました。日本文化をこよなく愛し、地元の住民の方々と家族のように交わり、「モンティ先生」として親しまれていました。津波に流される数時間前には司馬遼太郎の「世のために尽くした人の一生ほど、美しいものはない」の英訳を書き残しています。26歳でした。

この震災では、もう一人の JETALT、バージニアのランドルフ・メイコン大学出身のテイラー・アンダーソンさんが石巻で津波の犠牲となりました。国際交流基金日米センター (Center for Global Partnership [CGP]) では両氏の出身校において記念事業を実施し、その一環として、UAA には2012年に「モントゴメリー・ディクソン日本語日本文化教育センター」 (Montgomery Dickson Center for Japanese Language & Culture) が設立されました。当センター企画の「モンティの明日への架け橋」の教科書の企画は2013年と2014年の二年間に渡る CGP の助成金により実現しました。

本書は、カリフォルニア大学サン・ディエゴ校の牛田英子、ならびにカリフォルニア州立大学ロングビーチ校の片岡裕子の監修の元、9人の日本語教師によって執筆され、大学レベルの日本語中上級を対象に作成されています。陸前高田市で無料の英語教室を開講していたモンティの精神にのっとり、オンラインで無料配布いたします。多くの教師・学生の皆さんに利用していただき、「太平洋の架け橋」となるというモンティの夢を皆で実現していくことを心から願っています。

原田宏子  
アラスカ大学アンカレジ校  
日本語プログラム主任  
モントゴメリー・ディクソン日本語日本文化教育センター長

## 記念事業プロジェクト企画運営

原田宏子（アラスカ大学アンカレジ校）

## 教科書監修

牛田英子（カリフォルニア大学サンディエゴ校）

片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校）

## 執筆

泉ゆりか（カリフォルニア大学サンディエゴ校）

牛田英子（カリフォルニア大学サンディエゴ校）

片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校）

ダグラス昌子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校）

知念聖美（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校）

徳田淳子（メンフィス大学）

原田宏子（アラスカ大学アンカレジ校）

増山和恵（カリフォルニア州立大学サクラメント校）

村上千智（アラスカ大学フェアバンクス校）

## 協力者リスト

スポンサー

国際交流基金日米センター

ScholarWorks 協力者

Erik Carlson（アラスカ大学アンカレジ校）

英文校正

David Henry（アラスカ大学フェアバンクス校）

Steven Wilson（アラスカ大学アンカレジ校）